

写真でふりかえる都城

今回の展示では、昭和30年代から50年代を中心に、当時の都城を前後2期に分けて紹介。記憶にある世代には懐かしく、知らない世代には「ここはどこ」「こんな建物があつたの」と驚きの世界が広がっています。現在の私たちが触れることのできない過去の都城を疑似体験してみませんか。

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

市街地から高千穂峰を望む(昭和37年)

展示内容

◆江戸時代と現在の都城（共通）

江戸時代の記録から分かる主要な街道と現在の様子を写真で振り返ります。

◆航空写真と在りし日の建物（前期）

昭和30年代後半から40年代前半における旧都城市の街並みを航空写真などで紹介します。どこか分からないほど現在とは異なる道路の場所や街並み。また、当時流行した建物のデザインなども今とは違うことが分かります。

◆山之口町・高城町・山田町・高崎町の様子（共通）

合併する前の旧4町の街並みや建物を紹介。SL（蒸気機関車）が今から約50年前まで走っていた様子なども紹介しています。

◆水道と公共交通機関の移り変わり（前期）

本市で水道が敷設された昭和30年頃の様子や、整備されていく道路、開通していくバス路線のほか、駅舎や鉄道の移り変わりについても紹介。当時の地図や時刻表、電話帳などの資料も展示します。



①



③



④



②



⑤



⑥

①国道10号沿いの日向興業銀行(昭和30年)、②市営都城競馬(昭和30年)、③公明選挙広報(昭和32年)、④姫城町に建設された消防本部(昭和三十五年)、⑤広口ロータリー(昭和三十九年)、⑥高崎町を走る最後のSL(昭和49年)

●会期

前期…9月15日(木)～令和5年1月29日(日)

後期…令和5年2月3日(金)～5月7日(日)

※後期では、学校の移り変わりや文化・スポーツ、祭りなどのイベントの様子のほか、史跡や観光地の様子を紹介
※令和5年1月30日(月)～2月2日(木)は展示替えのため企画展示室閉鎖(常設展示は通常通り観覧可)
※月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、および年末年始(12月29日(木)～1月3日(火))は休館

●開館時間 9時30分～17時

※入館は16時30分まで

●入館料

大人220円(160円)

高校生160円(110円)

小・中学生110円(50円)

※()は20人以上の団体料金

※11月3日(木)は文化の日のため入館無料

※期間中、高校生以下の子どもと大人で来館すると高校生以下は無料